

第 68 回 ニューロ・オンコロジーの会

当番世話人 昭和医科大学 脳神経外科 近 貴志

代表世話人 神戸大学 未来医工学研究開発センター/
大学院医学研究科 医療創成工学専攻 村垣 善浩

- 主 題
- 1) 『 診断、治療に難渋した脳腫瘍症例 』
 - 2) 『 脳腫瘍の分子診断と新規治療薬の処方経験 』
 - 3) 『 脳腫瘍研究(基礎・臨床) 』

日 時 : 2026 年 1 月 31 日(土) 14:00-17:45

場 所 : 東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設(TWIns) 2 階

【注意】現地開催のみで、Web 配信はありません。

住 所 : 東京都新宿区若松町 2-2

当日連絡先 : 東京女子医科大学 03-3353-8111(代表)

プログラム

第 I 部 診断、治療に難渋した脳腫瘍症例

14:00～14:40

座 長 小林 裕介 先生 (昭和医科大学 脳神経外科)

- I-1. 『 著明な頭蓋内進展を認めた鼻副鼻腔原発腸型腺癌の1例
A case of nasosinusal intestinal-type adenocarcinoma with significant intracranial extension.』 (発表6分、討論2分)
田部井 勇助 先生 (国際医療福祉大学三田病院 脳神経外科)
- I-2. 『 診断に苦慮した小児PitNETの一例 』 (発表6分、討論2分)
児玉 琢磨 先生 (順天堂大学医学部 脳神経外科)
- I-3. 『 BRAF変異を有するHigh-Grade Glioma with Pleomorphic and Pseudopapillary Features(HPAP)
— 長期経過観察中に増悪したPLNTY類似腫瘍— 』 (発表6分、討論2分)
高山 裕太郎 先生 (横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学教室)
- I-4. 『 小児Li-Fraumeni症候群のSurveillance中に発見された、巨大前頭葉腫瘍の一例 』 (発表6分、討論2分)
松谷 智郎 先生 (千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学)
- I-5. 『 Novo TTF 治療前後における病理組織学的所見とその後の転帰について
～ NeoBevの副次的ベネフィットはあるか?～ 』 (発表6分、討論2分)
勅使川原 明彦 先生 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科)

共催セミナー: 日本化薬株式会社

特別講演 I 14:40～15:25

座 長 近 貴志 先生 (昭和医科大学 脳神経外科)

『 知ってくべきコモンディーズ, 機能的神経障害の診断と治療 』

岐阜大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学分野 教授 下畑 享良 先生

= Break Time = 10 分

- Ⅱ-1. 『POLE生殖細胞変異に伴うHypermutator phenotypeを呈し Pembrolizumabを使用した神経膠腫の一例』(発表6分、討論2分)
樋口 美未 先生（帝京大学医学部 脳神経外科）
- Ⅱ-2. 『BRAF V600E変異を有するEpithelioid glioblastomaに対するタフィナー・メキニストでの治療経験』（発表6分、討論2分）
黒田 林太郎 先生（自治医科大学 脳神経外科）
- Ⅱ-3. 『BRAF fusionを有する難治性毛様性星細胞腫に対してMEK阻害薬治療を施行した一例』（発表6分、討論2分）
清水 一秀 先生（東京科学大学 脳神経外科）
- Ⅱ-4. 『Von Hippel-Lindau病に合併した頭蓋内多発血管芽腫に対するHIF-2 α 阻害薬「ベルズチファン」の使用経験について』
永井 健太 先生（東京医科大学病院 脳神経外科）（発表6分、討論2分）
- Ⅱ-5. 『VHL病の新しい治療選択(HIF2 α 阻害薬Belzutifan)』（発表6分、討論2分）
高柳 俊作 先生（埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科）

共催セミナー：日本化薬株式会社

特別講演Ⅱ 16:15～17:00 座長 大野 誠 先生（国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科）

『プレジジョンメディシン時代の悪性脳腫瘍分子診断および治療』

新潟大学脳研究所 基礎神経科学部門 腫瘍病態学 准教授 梶田 学 先生

= Break Time = 10 分

- Ⅲ-1. 『C-CATデータを用いたびまん性中心性膠腫のH3K27M変異検出に対するLiquid Biopsyの信頼性』（発表6分、討論2分）
長谷川 祐三 先生（千葉県がんセンター 脳神経外科）
- Ⅲ-2. 『CUSA検体を活用した術中フローサイトメトリーとMLPA解析の臨床的意義』（発表6分、討論2分）
呂 聞東 先生（東京女子医科大学 脳神経外科）
- Ⅲ-3. 『GDF15依存性シグナルを標的としたGlioblastomaに対するNPe6-PDTの抗腫瘍効果増強の試み』（発表6分、討論2分）
富山 新太 先生（防衛医科大学校 脳神経外科）
- Ⅲ-4. 『当院における遺伝子パネル検査』（発表6分、討論2分）
北村 洋平 先生（慶応義塾大学医学部 脳神経外科）

【お知らせ】

- 参加費として、3,000 円を申し受けます。
- 右の二次元コード、または下記 URL より、事前にクレジット決済をお願いします。当日の、お手続きも可能です。

<https://event.menegeria.jp/events/01KEBMGYPRZN2TQH06F9V28Y1G>

- ご参加の先生方は、日本脳神経外科学会生涯教育研修会単位(脳腫瘍：1 単位)を取得できます。
- 本会におきましては、規則により旅費の負担ができませんことをご了承下さい。

———地図・交通案内———

都営地下鉄大江戸線 若松河田駅下車 徒歩 5 分
牛込柳町駅下車 徒歩 5 分
都営地下鉄新宿線 曙橋駅下車 徒歩 12 分



主催：ニューロ・オンコロジーの会

共催(特別講演)：日本化薬株式会社